

すくってごらん (2021)

メディア 映画

ジャンル コメディ ミュージカル

製作国 日本

色彩 Color

時間 92分

初公開日 2021/03/12

公開情報 ギグリーボックス

【キャッチコピー】

人生も恋も

大ピンチ！

【解説】

金魚すくいをテーマにした大谷紀子の同名コミックスを、主演に尾上松也と百田夏菜子を迎え、ミュージカルテイストを織り交ぜ実写映画化した異色のエンタテインメント・コメディ。奈良を舞台に、東京から左遷された銀行マンが、金魚の町で個性豊かな人々と織りなす風変わりな人間模様を斬新かつポップな筆致で描き出す。共演は柿澤勇人、石田ニコル。監督は「ボクは坊さん。」「ラスト・ホールド！」の真壁幸紀。

一つのミスが命取りとなり、エリート街道から落ちこぼれ、片田舎の支店に左遷された銀行員、香芝誠。すっかり落ち込んでいた彼は、金魚すくいが唯一の娯楽というこの町で金魚すくいの店を営む謎めいた美女・吉乃と運命的な出会いを果たす。吉乃のことが頭から離れず、戸惑いを隠せない香芝。ところが今度は、女優になる夢に破れてカフェで働く吉乃の幼なじみ、明日香から惚れられてしまう香芝だったが…。

【クレジット】

| | |
|---------------|-------|
| 監督 | 真壁幸紀 |
| 製作 | 宮本純乃介 |
| | 加太孝明 |
| | 宮崎聡 |
| | 羽東敏夫 |
| | 長岡雅美 |
| | 川上純平 |
| | 巴一寿 |
| 企画・プロデュース | 元村次宏 |
| 製作総指揮 | 酒巻正幸 |
| プロデューサー | 梶原富治 |
| | 瀬崎秀人 |
| 協力プロデューサー | 松井晶子 |
| アソシエイトプロデューサー | 山崎勉 |
| | 関根健晴 |
| | 巢立恭平 |
| 原作 | 大谷紀子 |

『すくってごらん』（講談社『BE LOVE』
所載）

| | | |
|--------------------|-------|------------------------|
| 脚本 | 土城温美 | |
| 撮影 | 柴崎幸三 | |
| 美術 | AKI | |
| 編集 | 瀧田隆一 | |
| 音楽 | 鈴木大輔 | |
| 主題歌 | 百田夏菜子 | 『赤い幻夜』（生駒吉乃） |
| 照明 | 谷本幸治 | |
| サウンドデザイン | 石坂紘行 | |
| 録音 | 赤澤靖大 | |
| 装飾 | 渡辺大智 | |
| スタイリスト | 関敏明 | |
| ヘアメイク | 菊地弥生 | |
| 助監督 | 倉光哲司 | |
| キャスティングプロ デューサー | 高柳亮博 | |
| 出演 | 尾上松也 | 香芝誠 |
| | 百田夏菜子 | 生駒吉乃 |
| | 柿澤勇人 | 王寺昇 |
| | 石田ニコル | Nicole Ishida 山添明日香 |
| | 矢崎広 | 先輩・川西 |
| | 大窪人衛 | 同僚・三宅 |
| | 清水みさと | 同僚・寛子 |
| | 辻本みず希 | 同僚・百合 |
| | 北山雅康 | 支店長 |
| | 鴨鈴女 | 下宿の女将 |
| | やのぱん | 通行人 |
| | 竹井亮介 | 香芝の元上司 |
| | 川野直輝 | 明日香の兄・権 太郎 |
| | 笑福亭鶴光 | 通行人 |